

平成25年度学術情報リテラシー教育担当者研修 グループ討議成果物

「新入生向け講習会の具体例」

テーマ：指導内容（指導/教育内容、
サービスメニュー、コンテンツなど） / 6班

発表日：2013/11/29

会 場：国立情報学研究所

きっかけ

KJ法により内容を絞る

- ・教わる側の能力の差
- ・教える側の問題
- ・教員との連携
- ・周知方法
- ・実施内容・時期
- ・評価・成果

⇒「教える内容」が問題だった！

内容再考(現状)

- 図書館の概要
- 利用方法
- 図書館ツアー
- 設備の案内
- 資料について
- レファレンスの存在
- OPAC
- 文献検索
- DBの紹介
- CiNii
- Japan Knowledge
- レポートの書き方
- Etc.....
-
-
-

多すぎ^ぎるよ！

具体的改善策

最終的目標とは？

⇒レポート、卒論が書ける学生

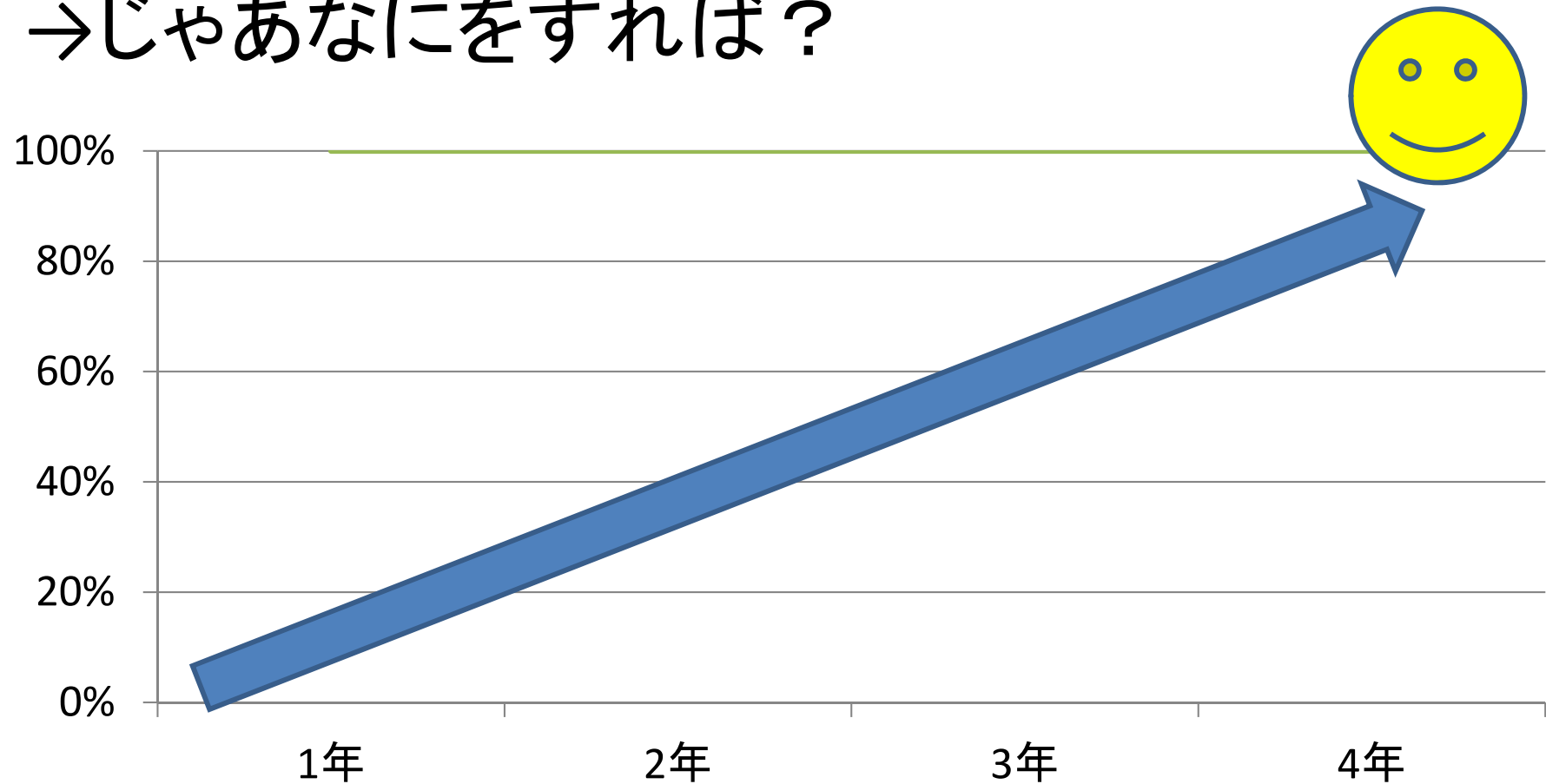
どんな講習が必要か？

テーマ：1年生には何が必要？

- 図書館利用案内

- 検索

→じゃあなにをすれば？



⇒基礎が大切

講習テーマ設定

- 誰に(who) ⇒初心者
- 何のために(why) ⇒レポートに必要な資料を探す
- 何を(what) ⇒図書・情報
- いつ(when) ⇒4, 5月ごろ
- どこで(where) ⇒学内施設
- どのように(how) ⇒身近な資料から探す

改善講習会はこれ！

《前提》

- 初年次向け(4~5月頃)
- 講義の一コマ(90分)
- 50~100人
- PC教室 or 図書館
- 授業担当教員にテーマを設定してもらう

講義内容

どのような講義を行えばよいか

《講義目標》

レポートに必要な資料を探せる、判断できるようになる

⇒そのために何が必要?

図書館概要、図書館利用方法などなど

⇒DVD、ネットなどで十分!

講義の内容は

- ・キーワード探索(辞書など)
- ・資料探索(OPAC)

に絞る

①キーワード探索

辞書・辞典を使ってテーマに対応したキーワードを探させる

発想を広げるツール、類語や定義を調べられることをわかってもらう

方法

グループを作らせて紙の辞書とネット上の辞書、Wikipediaをそれぞれ調べさせ、差異を見せる

⇒それぞれの利点と欠点を理解させる

②資料検索(説明)

なぜ図書(資料)を検索するのか?

⇒キーワード探索で誤った情報を見せ、レポートの評価が落ちることを伝える

OPACとは何か?

⇒図を使ってOPACで検索できるものを表示し、身近な入手できるものを検索しようと説明

②資料検索(方法)

キーワード探索で検索した単語を利用して
グループごとに検索

それぞれのグループで検索結果を検討させて、
数件選び出し、参考リストを作成させる

参考リストをグループごとに交換し、他グループ
の選んだ資料が図書館内のどこにあるか探さ
せる

アンケート内容

①分かった⇔分からない(理解度)

②友達に

教えられる！⇔教えられない！

③内容は

よかった⇔よくなかった(満足度)

④次のレベルの講習会があったら

受けますか？⇔受けませんか？

6班まとめ

講義具体例から重要なことは

- ・意義を絞り、内容を切る！
- ・次回につなげる！